

モール505で、まちづくり専門家(左)に現状などを説明する市職員=土浦市川口



駅周辺調査し診断、助言へ

まちづくり専門家来訪

土 浦

中心市街地活性化基本計画の策定を進めている、土浦市は13日、経済産業省の市街地活性化推進事業の一環として、まちづくりの専門家(左)を、J R土浦駅周辺などに案内した。専門家による診断や助言は年明けにでも市に報告される予定。

推進事業は「中心市街地活性化の取組に対する診断・助言等支援事業」。中心市街地活性化基本計画の認定を目指す市町村が対象で、各自自治体の状況に応じ商業系、観光系などの専門家が派遣される。専門家は現地を調査し、今後の活性

化に向けた取り組みを助言。今年度は、同市のほか、山形県長井市、山口県山口市の3市が採択を受けた。

現地調査では、市都市計画課の職員らが、専門家として派遣されたマーケティング会社「商い創造研究所」(東京都千代田区)の松本大地さんらを案内。2時間以上に渡り、J R土浦駅前やモール505(同市

川口)、まちかど蔵(同市中央)などを歩いて調査していた。

松本さんは「市街地の衰退は全国各地で起こっている問題。特効薬はない。人と町と商業をリンクできれば」と話す。

今後、専門家と市のまちづくり関係者との意見交換会が開かれる予定。診断、助言は年明けにでも、報告される。(齋藤智子)